

大阪「都」でくらしや経済がさらに悪化

必要なものまで「二重行政」?



府立体育会館 (大相撲・ボクシング興行など) 年間利用者 約83.1万人



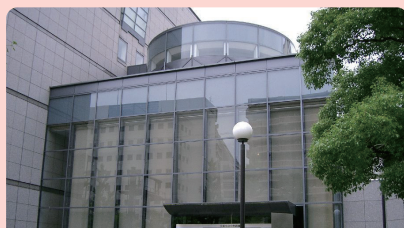
府立中央図書館 (東大阪市) 年間入館者数 約56万人



府立大学 学生数 約8千人



大阪市中央体育館 (アマチュアスポーツ大会など) 年間利用者 約62万人



大阪市立中央図書館 (大阪市西区) 年間入館者数 約161万人



市立大学 学生数 約8千3百人

画像: Wikipediaより

WTCとゲートタワー 共産党はきっぱり反対

府と大阪市がムダづかいをすすめたのは、「二重行政」だからではなく、開発優先の政策のせいです。共産党は、府のゲートタワービル建設にも大阪市のWTC建設にも反対しました。どちらも賛成した自・公・民の罪は重大です。

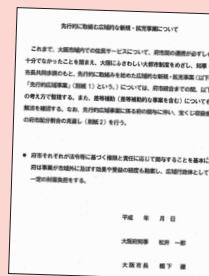
「効果額」の多くがくらし施策の削減

弘済院 (特養ホーム)	➡ 民営化
市民交流センター [年間74万人利用] 多世代のコミュニティづくりなど	➡ 10か所全廃
子育てプラザ [年間69万人利用] 在宅の子育て支援、就学前の子育て支援	➡ 24か所を18か所に
老人福祉センター [年間87万人利用] 高齢者の交流、イベントなど	➡ 26か所を18か所に
教育相談事業 (不登校児童の通所、就学後の子どものいじめなどの相談)	➡ 14か所を9か所に
住吉市民病院	➡ 小児・周産期の2次救急を担う役割を廃止。民間病院誘致決まらず

1兆5千億円の大型開発

橋下氏と松井氏は、府と大阪市が大型開発を推進する「覚書」を作成。松井知事は、「大阪都」が住民投票で否決されても開発をすすめる「保険」だとのべています。開発計画は、いま明らかにしているものだけでも1兆5千億円も。

- なにわ筋線 約2500億円
 - うめきた開発 約952億円+公園整備など
 - 淀川左岸線延伸部 約3000~4000億円
 - JR桜島線延伸(カジノへの鉄道) 約1700億円
 - 京阪中之島線延伸(カジノへの鉄道) 約3500億円
 - 地下鉄中央線延伸(カジノへの鉄道) 約540億円など
- ※カジノへの鉄道は3路線のうち2路線建設を予定



大阪市のつぎは、隣接する市が大阪「都」特別区になる可能性も

「政治とカネ」と無縁 清潔・透明な府議会を 日本共産党

共産党がつぎつぎ提案・実行

- 府議会では**
- 政務活動費 昨年11月からインターネットで全面公開
 - 議員報酬 3割カットは継続。住民の意見で額を決める
 - 府議選挙区 1票の格差3倍の維新案を2倍以下に是正提案
- 国会では** 政党助成金も企業団体献金も受け取らず、廃止法案を提案

2014年の 政党助成金受取額	維新	28億6531万円 (7月に解散した日本維新の会受け取り分含む)
	自民	157億8366万円
	公明	26億3万円
	民主	66億9288万円
	共産	0円

それでも「身を切る改革」? 維新の会のあきれた実態

政務活動費の使いみちも疑問だらけ

- 府議会では**
- 政務活動費 「今年度内にインターネットで公開」言いながら(12月24日)、実際は選挙も住民投票もすんでから
 - 議員報酬 3割カットは「当面1年」
 - 府議選挙区 審議なしで1票の格差3倍・1人区54%の定数削減を強行
 - 府職員に議会質問原稿を書いてもらう仕組みまで



国会では 経費の8割を政党助成金でまかなう「国営政党」 「企業・団体献金禁止」言うが、現職議員の半分は受け取っていた。パーティ券収入は大阪で2年連続1位

安倍政権・維新の会の海外派兵ストップを